



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 江口 聡 (TEL) 045-941-1388
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	126,015	5.8	6,896	56.5	6,667	72.6	3,822	99.6
2023年3月期第3四半期	119,074	15.9	4,407	—	3,862	—	1,914	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,625百万円(75.7%) 2023年3月期第3四半期 2,063百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	45.42	—
2023年3月期第3四半期	22.55	—

(注) 2023年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	221,368	132,925	59.9
2023年3月期	233,416	132,251	56.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 132,669百万円 2023年3月期 131,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	5.0	13,000	27.0	12,500	48.3	6,800	20.7	80.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	86,649,504株	2023年3月期	87,649,504株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,626,866株	2023年3月期	2,746,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	84,159,986株	2023年3月期3Q	84,902,825株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料について)

・四半期決算補足説明資料については、2024年2月8日(木)の決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み設備投資や個人消費が堅調に推移したこと等により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済の減速、エネルギーや原材料価格の高騰による物価上昇等に伴う個人消費の腰折れや人手不足等の影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は1,260億15百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は68億96百万円（前年同期比56.5%増）、経常利益は66億67百万円（前年同期比72.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億22百万円（前年同期比99.6%増）と増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

ファッション事業では、商品面において、創業以来培ってきたものづくりの力を集結した至高の一着「金のスーツ」を発売いたしました。また、引き続きご好評をいただいているパジャマスーツをよりビジネスで使いやすくきちんと感のある装いとして「パジャマスーツプレミアム」を新たに展開し品揃えを拡充いたしました。レディースでは、女性のビジネスウエアに対する悩みを解決する「ジャケジョ研究所」を発足し、働く女性に向けた商品情報を発信すると同時にMeWORK（ミワーク）商品の提案を強化いたしました。店舗面では、AOKIで業態転換を含む4店舗及びORIHICAで1店舗を新規出店した一方、営業効率の改善及び業態転換のためAOKIとORIHICAでそれぞれ3店舗を閉鎖した結果、当第3四半期末の店舗数は595店舗（前期末596店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び既存店が好調に推移した結果、売上高は607億68百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は16億65百万円（前年同期比62.4%増）と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、WEBやSNSを活用した効率の良い集客施策を継続して実施するとともに、海外のトレンドを取り入れたおしゃれで華やかなウェディングスタイル「TREND COLLECTION（トレンドコレクション）」の23年新作コレクションを発表いたしました。また、当社が制定し認定された「いい夫妻の日（11月23日）」には表参道店とみなとみらい横浜店において記念イベントを開催し、多くのご夫妻やご家族にご来場いただきました。

これらの結果、アニヴェルセル表参道の休館やリニューアル費用の発生及び既存店の施行組数が堅調に推移した結果、売上高は73億41百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は5百万円（前年同期は営業利益5億76百万円）となりました。

(エンターテイメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、日本経済新聞社が運営する「NIKKEI OFFICE PASS」の利用可能店舗を全店に拡大し、ビジネス・学習用途でのサービスを強化するとともに、有名飲食店やメーカーとの期間限定タイアップメニューを提供いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、高級感を体現した松茸味の「金のポテト」の販売や「俺のフレンチ・イタリアン」監修のコース料理を提供するなど飲食メニューの充実を図りました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24は、22歳までお得にお使いいただける「U22プラン」や「紹介割」等のお得なキャンペーンを一部店舗で実施するとともに、インドアゴルフの導入を継続いたしました。店舗面では、快活CLUBで3店舗及びFIT24で6店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活CLUBとコート・ダジュールでそれぞれ7店舗を閉鎖した結果、ランシシステムの複合カフェ自遊空間他95店舗（内フランチャイズ53店舗）を含め、当第3四半期末の店舗数は794店舗（前期末810店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び既存店が好調に推移した結果、売上高は565億93百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は49億33百万円（前年同期比80.2%増）と増収増益になりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、当社グループ外への賃貸を実施したこと等により、売上高は43億76百万円（前年同期比22.3%増）、営業利益は8億68百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、季節的要因等により前連結会計年度末と比べ120億47百万円減少し、2,213億68百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産が仕入高の増加等により37億19百万円増加した一方、現金及び預金が126億63百万円、売掛金が季節的要因等により51億63百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ135億1百万円減少いたしました。固定資産は、投資その他の資産の繰延税金資産等のその他が13億43百万円減少した一方、有形固定資産が新規出店及びリニューアル等により32億45百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ14億54百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が季節的要因等により33億43百万円、未払法人税等が法人税等の支払い等により18億8百万円及び賞与引当金が賞与の支払い等により25億1百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ91億52百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が60億円の借入れ及び1年内への振替えの結果31億9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ35億69百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、資本剰余金が自己株式の消却等により11億97百万円減少した一方、自己株式が取得及び消却等により4億43百万円減少するとともに、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果16億26百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ6億74百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、ファッション事業では残暑の影響を一部受けたものの、その他の事業を含め概ね堅調な動きが継続し、通期の進捗に対してやや上回って推移いたしました。

通期の連結業績予想については、第3四半期に入り物価や原材料価格等の上昇はやや落ち着きを見せているものの、第4四半期のファッション事業におけるフレッシュャーズ等の特定マーケットの状況により大きく変動する可能性があります。足元の状況等も鑑み2023年11月9日に公表した連結業績予想数値の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,295	25,631
売掛金	13,114	7,951
棚卸資産	19,465	23,184
その他	8,015	8,621
貸倒引当金	△54	△54
流動資産合計	78,836	65,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,898	65,119
土地	31,021	31,021
その他（純額）	14,378	16,403
有形固定資産合計	109,299	112,544
無形固定資産		
投資その他の資産	7,007	6,828
差入保証金	6,628	6,435
敷金	19,013	18,939
その他	12,682	11,338
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	38,272	36,660
固定資産合計	154,579	156,033
資産合計	233,416	221,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,963	14,619
1年内返済予定の長期借入金	10,647	10,047
未払法人税等	2,012	204
賞与引当金	3,349	847
役員賞与引当金	65	100
その他	14,865	13,931
流動負債合計	48,904	39,751
固定負債		
長期借入金	36,206	33,097
退職給付に係る負債	895	871
資産除去債務	7,855	7,909
その他	7,302	6,812
固定負債合計	52,260	48,691
負債合計	101,164	88,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	23,795	22,597
利益剰余金	87,434	89,060
自己株式	△3,490	△3,047
株主資本合計	131,022	131,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	563
退職給付に係る調整累計額	265	212
その他の包括利益累計額合計	947	775
非支配株主持分	281	256
純資産合計	132,251	132,925
負債純資産合計	233,416	221,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	119,074	126,015
売上原価	74,056	76,218
売上総利益	45,017	49,797
販売費及び一般管理費	40,610	42,900
営業利益	4,407	6,896
営業外収益		
受取利息	48	49
受取配当金	36	23
その他	220	152
営業外収益合計	305	225
営業外費用		
支払利息	277	218
固定資産除却損	71	40
その他	500	195
営業外費用合計	849	454
経常利益	3,862	6,667
特別利益		
投資有価証券売却益	—	48
受取解決金	—	500
雇用調整助成金等	255	—
特別利益合計	255	548
特別損失		
減損損失	849	741
特別損失合計	849	741
税金等調整前四半期純利益	3,268	6,474
法人税、住民税及び事業税	714	1,254
法人税等調整額	788	1,422
法人税等合計	1,503	2,676
四半期純利益	1,765	3,797
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△149	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,914	3,822

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,765	3,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	△118
退職給付に係る調整額	△57	△53
その他の包括利益合計	297	△171
四半期包括利益	2,063	3,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,212	3,650
非支配株主に係る四半期包括利益	△149	△24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、2023年5月16日に自己株式を100万株取得し、同年5月29日に同株数を消却いたしました。

これらの結果、自己株式の取得により自己株式が877百万円増加し、消却により資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,165百万円減少しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッ ション事 業	アニヴェ ル・ブラ イダル事 業	エンター テイメ ント事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	58,399	—	—	—	58,399	—	58,399	—	58,399
ブライダル	—	7,150	—	—	7,150	—	7,150	—	7,150
複合カフェ	—	—	40,774	—	40,774	—	40,774	—	40,774
カラオケ	—	—	7,297	—	7,297	—	7,297	—	7,297
フィットネス	—	—	3,769	—	3,769	—	3,769	—	3,769
その他	—	—	625	—	625	15	641	—	641
顧客との契約から 生じる収益	58,399	7,150	52,467	—	118,018	15	118,033	—	118,033
その他の収益	—	—	40	999	1,040	—	1,040	—	1,040
外部顧客への売上高	58,399	7,150	52,508	999	119,058	15	119,074	—	119,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	6	203	2,577	2,787	44	2,832	△2,832	—
計	58,400	7,157	52,711	3,577	121,846	59	121,906	△2,832	119,074
セグメント利益 又は損失(△)	1,025	576	2,737	628	4,968	△1	4,967	△560	4,407

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△560百万円には、セグメント間取引消去3,159百万円、のれん償却額△40百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,679百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、(企業結合等関係)に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ51百万円、692百万円及び8百万円です。また、各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休となった有形固定資産等96百万円を減損損失として計上いたしました。

(のれんの金額の重要な変動)

「エンターテイメント事業」セグメントにおいて、株式会社ランシステムの株式を取得し連結の範囲に含めたことよりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては407百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッショ ン事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	エンターテ イメント 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	60,765	—	—	—	60,765	—	60,765	—	60,765
プライダル	—	7,337	—	—	7,337	—	7,337	—	7,337
複合カフェ	—	—	44,133	—	44,133	—	44,133	—	44,133
カラオケ	—	—	7,792	—	7,792	—	7,792	—	7,792
フィットネス	—	—	3,934	—	3,934	—	3,934	—	3,934
その他	—	—	666	—	666	46	713	—	713
顧客との契約から 生じる収益	60,765	7,337	56,526	—	124,630	46	124,676	—	124,676
その他の収益	—	—	60	1,277	1,338	—	1,338	—	1,338
外部顧客への売上高	60,765	7,337	56,587	1,277	125,968	46	126,015	—	126,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	3	6	3,099	3,111	48	3,159	△3,159	—
計	60,768	7,341	56,593	4,376	129,079	95	129,174	△3,159	126,015
セグメント利益 又は損失 (△)	1,665	△5	4,933	868	7,462	△4	7,457	△561	6,896

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△561百万円には、セグメント間取引消去3,362百万円、のれん償却額△61百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,862百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ23百万円及び717百万円です。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2022年6月30日(みなし取得日)に行われた株式会社ランシステムとの企業結合について、前第2四半期連結会計期間及び前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額777百万円は、会計処理の確定により同額減少し、のれんの金額407百万円及び商標権1,142百万円を計上しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、のれん償却額は36百万円減少、商標権償却額は28百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ8百万円増加しております。